

1. 件名：日本原子力発電（株）敦賀2号機のボーリング柱状図データ書換えの原因調査分析に関する面談

2. 日時：令和3年4月6日（火）11時00分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁 2階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部検査グループ検査監督総括課

竹本企画調査官、米林主任検査監視官

原子力規制部検査グループ専門検査部門

小坂企画調査官、新岡検査技術専門職

原子力規制部検査グループ実用炉監視部門

反町主任監視指導官

日本原子力発電（株）

発電管理室 室長代理 他3名

5. 要旨

○日本原子力発電（株）から敦賀2号炉のボーリング柱状図記事欄の記載変更に関する根本原因分析の計画について、資料に基づき、以下の説明を受けた。

- 時系列の作成及び問題点の抽出については、先月23日の本店での原子力規制検査の結果を踏まえ、問題点が網羅的に抽出されるように、追加の聞き取り等により情報を更に補強し、意思決定プロセス等の経緯を明確にした論理性の高い時系列となるように再整理を行っており、4月中旬には提示することが可能
- 現在、時系列や問題点から、背後要因分析も着手している状況

○原子力規制庁は、問題点の抽出が適切に行われていることが背後要因分析の状況を確認する前提であることから、次回の原子力規制検査では、時系列や問題点の抽出が適切に行われているかどうかの観点で、背後要因分析の状況と比べることで活用する旨を伝えた。

また、次回の本店での原子力規制検査の日程については、4月12日の

週の後半で調整する旨を伝えた。

○日本原子力発電（株）から了解する旨の回答があった。

6. その他

資料：敦賀発電所 2 号炉 ボーリング柱状図データ書換えに関する根本原因
分析の計画について